

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年3月15日

事業所名 まさき園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子どもの好きな動物の名前のクラスになっています。ロッカー動物の絵を貼り自分の場所が分かるように工夫しています。室内はバリアフリーになっています。トイレも子供用のトイレを設備しています。	玩具の収納棚などを整備してより安全に活動できるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		朝、掃除をしたり汚れがある時はアルコール消毒のスプレーをしています。クラス毎に活動空間も変化させています。冬季は加湿器、霧吹きで湿度を保ち、感染症に気をつけています。	心地よい環境で活動できるように工夫をしていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		活動後クラス毎に振り返りと活動の予定を打ち合わせしています。週末は職員全体で打ち合わせを行っています。	週末のクラス全体の話し合いについては報告が主になっているので検討事項も協議できるようにしていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の評価を回収後、会議を開きました。至らない点、改善点を周知し実行していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今後公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に積極的に参加し、研修報告書を回覧し職員全体で周知しています。	資質の向上のため報告会を実施していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			アセスメント項目を再検討し、充実したアセスメント評価ができるようにします。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			園独自のアセスメントツールを活用しています。アセスメントツールを事業所内で再検討していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			地域支援を課題にして検討していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画からねらいを決め活動につなげています。	園の目標、クラスの目標から支援計画を意識して取り組むようにしていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各クラスで週案を作成して取り組んでいます。	目標に対しての振り返りを大切にしていきます。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		各クラスで週案を作成して取り組み新しい活動も取り入れています。	固定化しないように工夫していきます。	

供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	集団活動の中での個別支援に取り組み、計画書を作成しています。	今後も集団活動の中で個別の支援を取り組んでいきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	朝の全体打ち合わせと開園前にクラスで活動についての打ち合わせをしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	活動後にクラスで振り返りと次の活動の打ち合わせをしています。週末には全体での振り返りを共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	写真を加えた記録を残し検証しています。	記録をもとに検証・改善ができるように記録項目を簡素化していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		クラス毎で見直しを行っています。今後職員全体で見直ができる場を設けていきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援責任者が参加しています。担当職員と事前に打ち合わせをして参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		課題として連携会議など工夫して行います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	保護者からの情報を基に支援を行っています。	児童発達支援計画等で保護者の同意のもと、関係機関と連携をとっていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		連絡体制一覧を作成します。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	就学、就園する児童の活動を見学に来ていただいた際に、情報の共有をしました。	移行後、まき園の方から機会を作っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	活動を見学に来ていただき、情報の共有をしました。	園から情報共有や相互理解をする場を設けていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修に参加することや、療育支援事業で支援の方法について助言をいただきました。	今後も機会をつくっていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	帳面での家族からの連絡事項や送迎時に保護者と申し送りをすることで関係を築いています。	今後も些細な成長の変化を見落とさないようにし保護者に伝えていきます。
保	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	利用前の見学時と契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	懇談時に中間評価、終了時評価とともに支援計画書を説明し後日同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	送迎時などで聞いた悩み事についてクラスで検討しています。	

護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会などは設けていませんが、保護者向けの研修会を開催し交流する場を計画します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	契約時に苦情、相談窓口の連絡先をお伝えしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動を知っていただけるような機関紙を発刊していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		万灯会個人情報保護規程に準じて取扱いしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	送迎時、保護者との大切な時間に行っています。その時に情報の伝達等を行っています。	子供が理解できるように絵や写真を使って情報発信をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今後地域との交流する企画を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者に対しての周知が弱いため掲示をします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	訓練前に火事や地震、防犯の紙芝居を見てから訓練しています。防犯、地震、災害時想定避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	服薬の必要なお子さんは服薬依頼書を記入していただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者から確認して対応しています。	今後、指示書をいただければ確認して対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	作成後、口頭での報告と回覧して周知しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	契約時に説明しています。対象となるお子様については児童発達支援計画に記載していきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。